

第2回看護師のための認知症ケア講座 開催のご案内

《認知症ケア加算2該当研修》

後援 埼玉県医師会・日本慢性期医療協会

共催 日本医療法人協会埼玉県支部・全日本病院協会埼玉支部

2025年には、認知症高齢者は約700万人に上ると言われ、実に65歳以上の5人に1人が認知症を持つと言われていています。認知症は誰もが身近な病気であり、超高齢社会を迎えた日本では、医療・介護の従事者は全員、認知症ケアのプロであることが求められるようになるでしょう。このような背景から、平成28年診療報酬改定では認知症ケア加算が新設され、医療保険でも身体拘束廃止に向けての取り組みがようやく本格的に進められようとしています。認知症は、医療関係者のみでなく地域としても対応しなければならないものですが、その要となるのは看護師の皆様です。本講座では、認知症を知り、認知症をもつ人と向き合い、多職種チームでよりよいケアを提供できるよう、看護師の皆様に焦点を絞った研修を行います。

埼玉県内の施設間において県民へ質の高い医療・看護・介護を厚く提供するという当協会の主旨に沿い、認知症に向き合うプロを目指す皆様のご参加をお願い致します。

◆ 開催概要

- (1) 日程 平成30年9月1日(土)
- (2) 会場 大宮ソニックシティビル 906会議室
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 TEL 048-647-4111
https://www.sonic-city.or.jp/?page_id=178
(JR大宮駅西口より歩行者デッキ直結、徒歩約3分)
- (3) 定員 看護師100名
- (4) 参加費 会員12,000円、非会員20,000円(昼食を含む)
- (5) 申込方法 別紙申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。追って連絡担当者様宛に参加案内・参加費請求書などをお送りいたします。
- (6) 締切日 平成30年8月10日(金)(定員に達し次第締め切りとさせていただきます)
- (7) 連絡先 TEL049-293-8222 Fax049-293-8223 富家在宅リハビリテーションケアセンター事務 前田
【事務局】〒356-0051 埼玉県ふじみ野市亀久保2197 富家病院内
埼玉県慢性期医療協会事務局 TEL049-264-8811 Fax049-264-8777

本研修は診療報酬上の「認知症ケア加算2」の加算要件に該当します。

※ 本研修に参加された方には当協会より修了証書を発行いたします。

(遅刻・早退・中抜けなどがある場合は修了証書を発行いたしかねます。)

◆ プログラム（予定） 9月1日（土） 大宮ソニックシティビル 906会議室

8：55～9：00	開講挨拶
9：00～10：20	認知症の原因疾患と病態・治療 ＊講師：熊谷頼佳（医療法人社団京浜会京浜病院 理事長） 看護師も医師とともに、認知症の症状を引き起こす原因疾患に向き合うことが認知症ケアの基本となる。認知症の予防や治療により進行を遅らせることも含め、認知症疾患そのものを知ろう。
10：20～10：30	休憩
10：30～12：00	認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援 ＊講師：熊谷頼佳（京浜病院 院長） 身体拘束が認知症の人に与える影響、エンドオブライフの意思 確認など、患者、家族の視点に立ちサポートすることを考えよう。
12：00～12：30	昼食
12：30～14：50 うち休憩 10分	行動・心理症状（BPSD）、せん妄の予防と対応法（演習含む） ＊講師：富家隆樹（富家病院 理事長） 認知症の人をケアする上で一番の問題とも言えるのは、BPSD、せん妄であろう。しかし、それは認知症の人にとっての問題ではなく、周囲にとって大きな問題であるのかもしれない。ケアのレベルアップによって、これの問題はどう変わっていくのかを考えよう。 （演習）参加者各自がBPSD、せん妄の対応の困難事例についてディスカッションを通して考える。
14：50～15：00	休憩
15：00～17：30 うち休憩 10分	入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術（演習含む） ＊講師：小泉則子（永生病院 認知症認定看護師・主任） 認知症の人に適切な看護を提供するためには、そのファーストステップとして、アセスメントをもとにケアプランを立てることが必要であろう。そのために知っておかなければならないこと、見落としはならないことは何かを考えよう。 （演習）認知症のある患者の実際の様子をビデオを用いて数症例提示し、例のアセスメントを提示し、その患者に対するアセスメントの情報として求められているものは何か、また、必要な援助技術は何かを考える。
17：30～17：40	休憩
17：40～20：10 うち休憩 10分	コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法（演習含む） ＊講師：小泉則子（永生病院 認知症認定看護師・主任） どのように認知症の人とコミュニケーションをとればよいのか。その人がらしてきた生活環境を大切に、施設内での環境、あるいは地域での環境をえ、より穏やかに過ごしてもらうことを考えよう。 （演習）重度認知症の困難症例を提示し、コミュニケーションのとり方、医療チームでの対応の仕方などをディスカッションを通して考える。
20：10	閉講

看護師のための認知症ケア講座 参加申込書

9月1日開催

貴施設名

埼玉県慢性期医療協会

会員施設 ・ 非会員施設 (どちらかに○をお願いします)

〒

住所

Tel ()

Fax ()

連絡担当者氏名

部署・役職

ふりがな 参加者氏名	役職	看護師 経験年数	性別	生年月日
			男・女	S・H 年 月 日
			男・女	S・H 年 月 日
			男・女	S・H 年 月 日

返信先 FAX : 049-264-8223

申し込み締め切り : 平成30年8月10日(金)

埼玉県慢性期医療協会事務局 (富家病院内)

TEL 049-264-8811

※問い合わせ TEL 049-293-8222

(富家在宅リハビリテーションケアセンター前田)

※ 連絡担当者様宛に参加案内・参加費請求書などをお送りいたします。

～会場案内～



9月1日(土) 8:55～

大宮ソニックシティビル 906会議室